

第1部

感染症対策を含む避難所開設～環境づくり～

- コロナ禍における災害の発生を想定し、感染症対策を含む避難所開設にかかる訓練を実施しました。訓練では、検温～受付までの流れや体調不良者誘導時の動線確認を実施し、課題の洗い出しまを行いました。
- また、住民の方々とともにパーティションの搬入から設営までを行い3密を回避したレイアウトを作成し、災害3日後までの避難所生活（物資が到着しておらず、雑魚寝で生活）を体験いただきました。

検温～受付



- アルコール消毒+検温
- 受付者はマスク・フェイスガード
防護服・ゴム手袋装備



- 靴の消毒



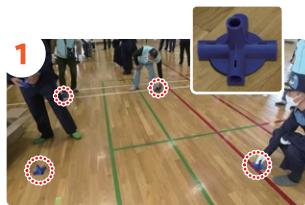
- 下足は袋に入れて各自で管理
- スリッパ（できればかかと付きのもの）
が必須



- 体調不良者室への動線の確認

パーティション設営

布タイプ



- 床にコネクタを2m間隔で四隅に配置する
※底面に滑り止めがついているもの



- 短いポール（柱用）×1と長いポール
（上下面の枠用）×2を4辺に配置する
※コネクタとはまだ接続しない



- 仕切り布の2つの穴に長いポールを
それぞれ通す



- 床に配置した①のコネクタとポールを接続する
※力ちつと音が鳴るまで



- 短いポールと下面に配置した
コネクタを接続



- 上面側も同様に接続し、1面を完成させる
※1面完成後、手を離すと倒れて危険
なので注意



- ①～⑥の作業を繰り返し、
4面完成させる
- 最後に、柱と仕切り布（2枚）を付属の
ひもで結びつける



- 完成
※入り口となる面は開くように1枚だけ柱に結びつける

段ボールタイプ



- 折り目に沿って段ボールを折り、土台を2つ作る



- 仕切り板を土台の切れ目に差し込む

災害3日後の避難所生活の体験



- 3密を回避した
レイアウトの完成



- 雜魚寝での避難所生活の体験

テントタイプ

※大阪府からブッシュ型
による支援



- パーティションを2段階に分けて広げる
※力を加えると自然に広がる



- 完成

松尾先生

- 必ずしも避難所へ行くことだけが避難ではない。
- 他の避難形態についてもあらかじめ考えておいていただきたい。（知人宅への縁故避難、民間の宿泊施設への避難等）
- 実際に避難した際には今日の取組を活かし、さらに効率的に設営を行っていただきたい。

根本先生

- 受付は時間帯や天候によっては屋内に移動するなど臨機応変に。
- 体調不良者室への動線を健常者と分けることは非常に良い考え方である。
- 一度体験できたことで、次は半分程度の時間で設営ができると思う。
- 避難所へ送られてくる様々な資材を臨機応変に、柔軟性をもって活用することが重要。

感染症蔓延下の災害対応ワーキンググループ

事務局：近畿地方整備局、大阪府

※「コロナ禍における避難所設営訓練【第1部】」に関する問合せは摂津市防災危機管理課までお願いします。TEL：06-6383-1111

問合せ

第2部 段ボールベッドの設営

- 美鈴紙業(株)監修のもと市職員・防災センター(市民)による段ボールベッド設営訓練を実施しました。
- 災害時には多数の資材が搬入される一方で、対応できる職員の数は限られています。そこで、防災センターの方々にも組立手順を理解してもらい、災害時に他の避難者に指導いただくことも目的の一つです。
- また、設営後は段ボールベッドに寝転んでもらい、雑魚寝との寝心地の違いを体感していただきました。

段ボールベッド設営方法

材料 ケース×12個、仕切り板×12枚、口の字×6枚、天板×4枚



- ケースの底面をテープでとめ、仕切りを入れる



- 上面をテープでとめ、これを12個作成する



- 口の字の囲いにケースを2個ずつ入れ、これを6セット作成する



- ③を2×3の縦長になるように並べ、天板を2枚乗せる



- 残りの天板を折り目に沿って半分に折り、ベッドの側面に間仕切りとして貼り付ける
- 完成(協力すれば所要時間10分程度)

段ボールベッドの設営方法の詳しい内容は右記のQRコードを読み取りください。



寝心地体験

メリット、注意点



雑魚寝とは
寝心地が全然違う

- 平面耐荷重：約8t
- 高い保温性能
- ベッド下を収納として利用可
- 間仕切りにより無症状患者就寝時の飛沫拡大防止
- 床面からの高さが35cmあり、床から巻き上げられたウイルスへの接触防止
- 付着したウイルスが24時間以内に死滅

- かさばるため大量保管が困難(自治体だけでは不可能)
- 湿気に大変弱い(保管の際はすのこを引く必要あり)
- 手を負傷しやすいため、軍手必須

松尾先生

- 雜魚寝の過酷さと段ボールベッドの快適さをより実感いただけたと思う。
- 令和2年台風第10号では死者数に対する負傷者数が多く、その中でも高齢者の避難所内での転倒が多く見られた。
- 避難所内で床面が濡れると特に高齢者は転倒する危険性が高いため、スリッパ(できればかかと付きの靴)を持参するように周知することが重要。

根本先生

- 災害時には段ボールベッドは大量に運び込まれてくるが、職員の数には限りがある。
- 自分たちだけでも組立てることができるようにしておくことが重要。
- 今日の経験を活かし、災害時には他の避難者の方に設営方法のアドバイスをしていただきたい。

問合せ

感染症蔓延下の災害対応ワーキンググループ

事務局：近畿地方整備局、大阪府

※「コロナ禍における避難所設営訓練【第2部】」に関する問合せは摂津市防災危機管理課までお願いします。TEL：06-6383-1111

第3部 「快適トイレ」(自走式仮設トイレカー)の機能確認

- 避難所生活においてトイレを我慢することは健康被害につながる可能性があるため、良好なトイレ環境を確保することが重要です。
- 今回、避難所の道路事情を考慮し、(一社)日本建設機械レンタル協会(西尾レントオール株式会社)の協力により、小型車両搭載型の自走式仮設トイレカーを準備しました。
- 災害時に我慢させないトイレ環境の整備を行うにあたって導入が期待されている、「快適トイレ」(自走式仮設トイレカー)の機能や使用方法について確認しました。

快適トイレ(自走式仮設トイレカー)の説明



4大メリット

面倒な設置もこの1台で済む 移動も楽々
水補給と汚物処理も楽々 トイレっぽくないイメージ

- 照明があり、水洗式、においが気にならない。
- 下水道が止まった場合でも自家発電により使用可。
- 一度の水補給で約160人分が利用可能。
- 足腰の悪い方向けにスロープも設置可能。
- 避難所には30人あたりに1台が目安(簡易トイレ含む)。

1

個室 洋式便座
小さな子どもやご高齢の方にもやさしい洋式便座を採用しました。

2

小便器
トイレカーライクは小便器を設置することで使用回転率が向上させる事が可能になりました。小便器上にはカバンを置ける柵があります。

3

手洗い場
手洗い場で衛生面をサポート。別途に借りずに済むので経費が削減できます。

4

肩付き収納スペース
小便器の壁面上部と個室スペースの2ヶ所に肩付きスペースを設けており、予備のスペースや掃除道具を収納できます。移動・走行中の散乱を防ぎます。



全体講評

松尾先生

- 今回参加された住民の方々や摂津市職員等様々な立場の皆様には、それぞれの地域に戻ったときに今日の取組を災害時にどう活用できるかを考え、いざというときの命を守る取組に生かしていただきたい。
- 摂津市をモデルケースとしたコロナ禍における分散避難の周知に向けての取組は継続していくので、またこのような機会があれば是非ともご協力いただきたい。

根本先生

- このような状況下で国、府、市そして住民の方々が一体となって避難所設営訓練を実施できたことは大きな実績。
- 避難所生活で最も欠かせないのはトイレであると考えている。特に、女性が安心して使用でき、我慢させないような環境づくりが重要。
- 今回の訓練を通じて、災害や避難時に生きる人と人とのつながりをさらに強めていっていただきたい。

問合せ

感染症蔓延下の災害対応ワーキンググループ

事務局：近畿地方整備局、大阪府

※「コロナ禍における避難所設営訓練【第3部】」に関する問合せは近畿地方整備局防災室までお願いします。TEL：06-6942-1141